

令和4年度第3回朝日町総合教育会議 会議録

令和4年11月22日（火曜日）

午前10時40分から午前11時50分

エコミュージアムコアセンター創遊館会議室

出席者 朝日町長 鈴木 浩幸
朝日町教育委員会
教育長 堀 俊一
委員 五十嵐義一
委員 井上 幸弘
委員 橋間 博美
委員 海野 睦

職務のため出席した者の職氏名

教育文化課長 伊藤 淳
主幹 高橋 昭彦
課長補佐兼学校教育係長 菊地早百合（書記）
課長補佐 伊藤 雅樹
生涯学習係長 白田 淳

1. 開 会

課長の進行及び開会宣言

2. あいさつ

鈴木 浩幸 朝日町長
堀 俊一 教育長

3. 協議事項

伊藤課長より会議の招集者である町長を議長とすることを確認し、了承を得る。

議長（鈴木町長） （1）朝日町立小中学校の在り方に関する基本方針（案）に関し説明を求めた。

課長 冒頭、方針（案）を説明。

橋間委員 説明を聞いて理解が深まった。

「義務教育学校設置の意義」について、「コミュニティ・スクール」が「スクール・コミュニティ」へつながることを盛り込んでどうか。

町長 コミュニティ・スクールに関する記述について、再度詳しく説明を。

主幹 「コミュニティ・スクール」の取り組みに関してはつながり、ひろがりがある。その先には、スクール・コミュニティ（学校を核としたコミュニティ）にもつながっていく。こうした視点も盛り込んでいきたい。

井上委員 橋間委員と同じだ。地域のコミュニティに関する記述、文章に盛り込んでほしい。学校を作って終わりではないし、子供たちが行くだけの学校ではない。地域とのつ

ながりをもっと入れるべき。

五十嵐委員

主幹が補足した言葉をもっとわかりやすくして入れてほしい。学校を作って終わりではないことを強調すべき。

海野委員

「スクール・コミュニティ」はわかりにくい表現だ。

町長

「つながっていく」という部分を大切にしたい。

課長

ご指摘いただいた内容を盛り込みたい。

五十嵐委員

(自分が子供の頃の) 大谷は小学校と中学校が一緒(の校舎)だった。(小中が一緒に学ぶ) 義務教育学校になったとしても、私は抵抗を感じない。

井上委員

町を挙げた取り組みとなれば、人の手当てをしっかりとお願いしたい。庁内プロジェクトチームを作るなども必要。大きなプロジェクトは職員としての成長やステップアップにつながる。

4. 閉 会

以上、協議し、午前 11 時 50 分に第 3 回朝日町総合教育会議の会議を閉じた。

町 長

教 育 長

調 製 職 員 菊地早百合